

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月4日

上場取引所 大

上場会社名 GMB(株)

コード番号 7214 URL <http://www.gmb.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長

(氏名) 松岡 信夫

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 阪口 有一

四半期報告書提出予定日 平成21年11月12日

配当支払開始予定日

TEL 0745-44-1911

平成21年12月8日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	11,733	△41.2	△219	—	△237	—	△92	—
21年3月期第2四半期	19,971	—	1,487	—	1,544	—	732	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	△17.71	—
21年3月期第2四半期	140.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%		
22年3月期第2四半期	34,181	—	16,870	41.6	2,727.16	
21年3月期	33,363	—	17,009	42.5	2,719.73	

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 14,213百万円 21年3月期 14,174百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	17.50	—	12.50	30.00
22年3月期	—	15.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,000	△24.3	500	△12.0	270	△55.8	50	△91.6	9.59

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有
新規 1社 (社名) 除外 1社 (社名 山東吉明美工業有限公司)
(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	5,212,440株	21年3月期	5,212,440株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	783株	21年3月期	733株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	5,211,702株	21年3月期第2四半期	5,211,794株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、4ページ【定性的情報・財務諸表】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年9月30日までの6ヶ月間）における経済状況は、昨年秋からの金融危機がようやく峠を越え、わが国経済も輸出と生産の増加に支えられ緩やかな回復基調となりました。しかしながら、世界的な財政出動に支えられた景気の底入れから、本格的な自律回復に対しては不安が残る状況が続いております。また、自動車業界においても、各国の景気刺激策の効果により新車需要が回復に向かっております。

このような環境の中、当社グループは、引き続き新車用部品・補修用部品の両市場において既存顧客との関係を強化しつつ、回復する需要のなかで、米国において大手チェーンストアとの新規取引が成約するなど、販路拡大に努めましたが、本格的な販売回復には至りませんでした。また、中国子会社（山東吉明美工業有限公司）の清算を決議するなど、生産拠点の再編を含めたグループ各拠点の生産性向上やコスト削減に努めました。

さらに、円高ドル安に進行した為替相場や、韓国ウォンの下落など在外子会社の財務諸表を円換算する際の為替変動による影響も加えた結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高が11,733百万円（前年同四半期比41.2%減）となり、営業損失は219百万円（前年同四半期営業利益1,487百万円）、経常損失は237百万円（同経常利益1,544百万円）、四半期純損失は92百万円（同純利益732百万円）となりました。

当グループは単一セグメントであり、主要な品目分類別の販売状況を説明しますと、次のとおりであります。

駆動・伝達及び操縦装置部品部門は、欧州向けユニバーサルジョイントの販売や、韓国新車用部品市場におけるバルブスプールの販売が減少したことにより、売上高は4,868百万円（前年同四半期比46.1%減）となりました。

エンジン部品部門は、米国以外の補修用市場におけるウォーターポンプの販売が減少するなどした結果、売上高は3,030百万円（同42.3%減）となりました。

ベアリングその他部門は、韓国子会社が生産するテンショナー・アイドラー・ベアリングの新車用・補修用部品での販売が減少したことなどにより、売上高は3,834百万円（同32.6%減）となりました。

所在地別セグメントの業績は次のとおりであります。

①日本

欧州向けの新車用部品の輸出や海外補修用部品における需要も本格的な回復に至らず、販売は総じて低調に推移しました。引き続き生産合理化や経費削減に努める一方で、米国の大口新規取引に対応する過程で非効率な調達と生産を一時的に余儀なくされるなどした結果、売上高4,039百万円（前年同四半期比44.4%減）、営業損失139百万円（前年同四半期営業利益730百万円）となりました。

②北米

連結子会社のGMB NORTH AMERICA INC.においては、安定した需要の継続する補修用部品市場で販売強化に努めた結果、売上高1,337百万円（前年同四半期比15.6%増）、営業損失41百万円（前年同四半期営業損失83百万円）となりました。

③アジア

連結子会社のGMB KOREA CORP.においては、韓国自動車メーカーおよび系列部品メーカー向けの販売は回復する完成車メーカーの需要に応じて緩やかな回復基調となりました。また、他の生産子会社においても生産が回復する過程で採算も改善しましたが、総じて本格的な回復には至りませんでした。さらに円高韓国ウォン安の為替変動による円換算の影響も加味した結果、売上高6,356百万円（前年同四半期比44.9%減）、営業利益23百万円（同97.0%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は34,181百万円となり、前連結会計年度末に比べて817百万円増加いたしました。純資産は16,870百万円で、自己資本比率は41.6%となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は715百万円(前年同四半期比38.4%減)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失が240百万円(前年同四半期税金等調整前四半期純利益1,629百万円)、売上債権の増加額が624百万円(前年同四半期は1,017百万円の減少)となるなか、減価償却費が963百万円(前年同四半期比15.3%減)、仕入債務の増加が632百万円(前年同四半期は615百万円の減少)となったことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1,660百万円(前年同四半期比1.9%減)となりました。これは主に、設備投資による有形固定資産の取得による支出が1,158百万円(同13.8%減)、貸付による支出が255百万円(同2,254.1%増)となったことなどによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は46百万円(前年同四半期は309百万円の使用)となりました。これは主に、社債の発行による収入が300百万円(前年同四半期は300百万円の償還による支出)となったことや、短期・長期借入金が293百万円減少(前年同四半期は225百万円の増加)したことなどによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年10月23日付適時開示資料「業績予想の修正に関するお知らせ」において、第2四半期までの実績やその後の改善見通し等を総合的に勘案した通期の連結業績予想の修正を公表しており、その予想からの修正はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

山東吉明美工業有限公司は、当第2四半期連結会計期間において清算決議を行い、重要性がなくなったため、当第2四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

①税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,724,089	4,602,528
受取手形及び売掛金	4,896,871	4,140,346
商品及び製品	2,081,578	1,974,252
仕掛品	3,001,741	2,973,951
原材料及び貯蔵品	1,376,341	1,477,850
未収還付法人税等	3,848	120,748
繰延税金資産	300,638	105,645
その他	623,374	618,803
貸倒引当金	△65,313	△48,082
流動資産合計	15,943,171	15,966,044
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,612,595	3,296,884
機械装置及び運搬具（純額）	6,800,332	6,418,326
土地	5,333,569	5,272,877
建設仮勘定	473,124	975,946
その他（純額）	371,606	382,119
有形固定資産合計	16,591,228	16,346,154
無形固定資産		
のれん	41,193	54,925
その他	230,047	197,546
無形固定資産合計	271,241	252,472
投資その他の資産		
投資有価証券	720,495	92,512
繰延税金資産	372,338	354,697
その他	313,136	373,624
貸倒引当金	△30,119	△21,534
投資その他の資産合計	1,375,850	799,300
固定資産合計	18,238,320	17,397,927
資産合計	34,181,492	33,363,971

(単位：千円)

当第2四半期連結会計期間末
(平成21年9月30日)

前連結会計年度末に係る
要約連結貸借対照表
(平成21年3月31日)

負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,448,784	2,686,484
短期借入金	3,496,229	4,077,586
1年内返済予定の長期借入金	2,858,007	2,309,867
未払法人税等	15,532	60,500
繰延税金負債	174,577	169,421
賞与引当金	143,506	149,376
製品保証引当金	132,219	157,486
その他	1,338,435	1,440,039
流動負債合計	11,607,293	11,050,761
固定負債		
社債	300,000	—
長期借入金	3,065,482	3,221,898
繰延税金負債	42,376	42,356
退職給付引当金	1,384,943	1,233,431
役員退職慰労引当金	231,300	233,900
負ののれん	111,315	126,157
その他	568,600	445,688
固定負債合計	5,704,017	5,303,432
負債合計	17,311,311	16,354,193
純資産の部		
株主資本		
資本金	838,598	838,598
資本剰余金	988,000	988,000
利益剰余金	13,880,800	14,059,716
自己株式	△1,694	△1,662
株主資本合計	15,705,704	15,884,652
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△3,081	△14,911
為替換算調整勘定	△1,489,583	△1,695,300
評価・換算差額等合計	△1,492,664	△1,710,211
少数株主持分	2,657,140	2,835,337
純資産合計	16,870,180	17,009,777
負債純資産合計	34,181,492	33,363,971

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	19,971,890	11,733,491
売上原価	15,874,874	10,096,209
売上総利益	4,097,015	1,637,282
販売費及び一般管理費	2,609,096	1,856,570
営業利益又は営業損失(△)	1,487,919	△219,288
営業外収益		
受取利息	14,526	8,359
為替差益	110,279	51,172
受取保険金	19,835	11,137
負ののれん償却額	7,421	21,445
その他	62,315	39,587
営業外収益合計	214,378	131,702
営業外費用		
支払利息	104,165	108,970
手形売却損	41,180	24,569
その他	12,621	16,269
営業外費用合計	157,967	149,809
経常利益又は経常損失(△)	1,544,330	△237,395
特別利益		
固定資産売却益	22,704	2,193
貸倒引当金戻入額	74,095	—
持分変動利益	20,381	1,221
その他	6,832	—
特別利益合計	124,013	3,415
特別損失		
固定資産売却損	58	1,952
固定資産除却損	16,335	1,764
投資有価証券評価損	—	1,607
役員退職慰労金	22,000	1,600
特別損失合計	38,394	6,925
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,629,948	△240,906
法人税等	565,891	△194,893
少数株主利益	331,091	46,286
四半期純利益又は四半期純損失(△)	732,966	△92,299

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,629,948	△240,906
減価償却費	1,136,565	963,004
のれん償却額	14,662	13,731
負ののれん償却額	△7,421	△21,445
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△73,740	22,732
賞与引当金の増減額(△は減少)	△23,724	△5,869
退職給付引当金の増減額(△は減少)	123,282	110,074
製品保証引当金の増減額(△は減少)	6,952	△29,014
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△66,900	△2,600
受取利息及び受取配当金	△16,000	△9,017
支払利息	104,165	108,970
為替差損益(△は益)	173,092	△137,974
投資有価証券評価損益(△は益)	—	1,607
有形固定資産除売却損益(△は益)	△6,309	1,524
売上債権の増減額(△は増加)	1,017,733	△624,994
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,039,215	△3,398
仕入債務の増減額(△は減少)	△615,422	632,972
その他	△596,487	△24,221
小計	1,761,182	755,174
利息及び配当金の受取額	14,683	5,182
利息の支払額	△116,964	△118,231
法人税等の支払額	△497,306	—
法人税等の還付額	—	73,090
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,161,594	715,215
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,107,848	△928,873
定期預金の払戻による収入	1,143,980	804,922
有形固定資産の取得による支出	△1,344,088	△1,158,705
有形固定資産の売却による収入	64,072	13,452
無形固定資産の取得による支出	△40,394	△52,666
投資有価証券の取得による支出	△13	△109,491
投資有価証券の償還による収入	30,216	1,235
子会社株式の取得による支出	△502,391	—
貸付けによる支出	△10,866	△255,804
貸付金の回収による収入	12,796	4,444
その他	63,045	21,416
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,691,491	△1,660,069

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	2,997,040	3,016,960
短期借入金の返済による支出	△2,563,521	△3,682,821
長期借入れによる収入	1,073,177	1,760,000
長期借入金の返済による支出	△1,281,670	△1,387,482
セール・アンド・リースバックによる収入	—	403,296
リース債務の返済による支出	△63,442	△273,400
社債の発行による収入	—	300,000
社債の償還による支出	△300,000	—
配当金の支払額	△91,207	△65,146
少数株主への配当金の支払額	△80,019	△24,549
自己株式の取得による支出	△125	△31
財務活動によるキャッシュ・フロー	△309,768	46,824
現金及び現金同等物に係る換算差額	△84,299	45,883
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△923,964	△852,145
現金及び現金同等物の期首残高	3,332,081	3,630,417
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△244,075
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,408,116	2,534,196

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）及び当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

当社グループは自動車部品のメーカーとして、同一セグメントに属するウォーターポンプ及びユニバーサルジョイント等の製造、販売を行っており、当該事業以外に事業の種類がないため該当事項はありません。

〔所在地別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

	日本 (千円)	北米 (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	7,271,201	1,157,228	11,543,460	19,971,890	-	19,971,890
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,490,325	8,391	3,265,013	4,763,731	(4,763,731)	-
計	8,761,527	1,165,619	14,808,473	24,735,621	(4,763,731)	19,971,890
営業利益 (または営業損失 (△))	730,460	△83,377	775,346	1,422,429	65,490	1,487,919

当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

	日本 (千円)	北米 (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	4,039,491	1,337,319	6,356,680	11,733,491	-	11,733,491
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,859,935	6,869	2,437,583	4,304,388	(4,304,388)	-
計	5,899,426	1,344,188	8,794,264	16,037,879	(4,304,388)	11,733,491
営業利益 (または営業損失 (△))	△139,180	△41,228	23,625	△156,783	(62,504)	△219,288

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 本邦以外の区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。

(1) アジア・・・韓国、中国、タイ

(2) 北米・・・アメリカ

3. 会計処理の方法の変更

前第2四半期連結累計期間

(棚卸資産の評価に関する会計基準)

「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」(1)に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号 平成18年7月5日)を適用しております。

この変更に伴い、従来の方によった場合に比較して、当第2四半期連結累計期間の日本の営業利益が28,431千円減少しております。

(連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い)

「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」(2)に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号 平成18年5月17日)を適用しております。

この変更に伴い、従来の方によった場合に比較して、当第2四半期連結累計期間のアジアの営業利益が20,302千円増加しております。

4. 追加情報

前第2四半期連結累計期間

(有形固定資産の耐用年数の変更)

「追加情報」に記載のとおり、当社の機械装置については、従来、耐用年数を2～12年としておりましたが、法人税法の改正を契機として、資産の利用状況等を見直した結果、第1四半期連結会計期間より2～9年に変更しました。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比較して、当第2四半期連結累計期間の日本の営業利益が29,177千円減少しております。

[海外売上高]

前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)

	アジア	北米	その他の地域	計
I 海外売上高 (千円)	11,882,442	1,877,494	3,013,194	16,773,131
II 連結売上高 (千円)	-	-	-	19,971,890
III 連結売上高に占める海外売上高の割合 (%)	59.5	9.4	15.1	84.0

当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)

	アジア	北米	その他の地域	計
I 海外売上高 (千円)	6,678,488	1,839,569	1,575,783	10,093,842
II 連結売上高 (千円)	-	-	-	11,733,491
III 連結売上高に占める海外売上高の割合 (%)	56.9	15.7	13.4	86.0

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しています。

2. 各区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

(1) アジア・・・韓国、中国、タイ等

(2) 北米・・・アメリカ、カナダ

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。